

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

提出区分	実績	整理番号	7	課題区分	C	令和6年(2024年)3月29日	
横断的な課題	2地域を支える産業のグレードアップ					上田地域振興局	
地域重点政策	2地域を支える産業のグレードアップ						
実施機関	工科短期大学校			担当課	所属	事務局	
事業名	上田地域の短期大学の連携による地域で活躍する人材定着促進事業(継続)				電話	0268-39-1111	
				E-mail	kokatankidai@pref.nagano.lg.jp		
事業概要等	目的 (目指す姿)	上田地域の高等教育機関が、それぞれの特性を活かした地域産業・社会へ貢献する人材育成と教育研究を行うことで、両校の地域価値の向上を図り、上田地域出身の学生が地元就職し、地域産業を支える担い手となり、地域の活力が高まるように取り組む。					
	現状と課題	・少子高齢化や若者の東京圏等への流出により、製造業を中心に人材確保が困難な状況になっている。 ・高校生の4年制大学志向が進むとともに、少子化により4年制大学への進学が容易になり、短期大学等への志願者・入学者の減少し、これまで地域産業を支えてきた短大卒業生が今後不足するようになることが危惧される。 ・就職やキャリア形成において4年制大学にはない短期大学等の魅力を地元の中高生・保護者に広く知ってもらう必要がある。 ・より効果的にPRを行うため、各校単独ではなく、上田女子短期大学と連携したPR活動を行うことが必要である。					
	内容 (変更後の内容)	上田女子短期大学と連携して、中学生へのキャリア教育、両校の情報発信を実施する。 1 上小地域の中学生を対象としたキャンパスツアーを開催 将来就きたい仕事がイメージできるキャリア教育の機会としてキャンパスツアーを開催。 施設見学、模擬授業等の体験を通じて両校の魅力を発信し、地域人材の育成を目指す。 2 連携した情報発信の取り組み R3年度に両校学生が協力して考案したイメージキャラクターをデザインしたタペストリーに両校の旬の情報を加えて上田駅前に掲示し、知名度の向上を図る。 ・7月16日に両校のオープンキャンパスが同日開催のため、6月～7月に共同の広報を計画。 ・その他のイベントについても、今後調整して実施したい。					
	事業期間	令和5年(2023年) 6月 ～ 令和5年(2023年)7月					
事業費等	(単位:円)						
	事業を構成する細事業名等	実施内容		計画(実績)額		備考	
	キャンパスツアー開催事業	キャンパスツアー開催		68,720		バス借上げ、模擬授業用材料	
	合 計		68,720				
指標及び達成状況	成果指標			目標値	成果	達成状況	
	上田地域からの入学志願者の増加(R4:41名→R5:45名)			45名	35	○ 達成	
						○ 一部達成	
						● 未達成	
事業実績・成果	○上小地域の中学生を対象としたキャンパスツアーを開催 将来就きたい仕事がイメージできるキャリア教育の機会としてキャンパスツアーを開催。 ・工科短期大学校では、機械システム学科による3Dプリンターで作成した手動扇風機で歯車の仕組みのレクチャーを受け、知能情報システム学科によるプログラミング体験でスマホアプリアプリを作成。 ・上田女子短期大学では、幼児教育学科による自然物で食べ物を作る「森のレストラン」の模擬授業を受講。短大の裏山で草をちぎったり、土を丸めたりして「料理」を作りポイントを発表。 9名の参加者の中からは、機械に興味はなかったが面白かった。司書を目指していたので参加して気持ち明確になった。などの感想があった。						
今後の方向性	上田女子短期大学と連携して、中学生等が将来就きたい仕事がイメージできるキャリア教育に繋がるよう、両校の魅力発信と地域人材の育成を図る取組を実施していく。						